

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公開番号】特開2009-53641(P2009-53641A)

【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2007-222940(P2007-222940)

【国際特許分類】

G 02 B 7/28 (2006.01)

H 04 N 5/232 (2006.01)

G 02 B 7/34 (2006.01)

G 02 B 7/36 (2006.01)

G 03 B 13/36 (2006.01)

【F I】

G 02 B 7/11 N

H 04 N 5/232 H

H 04 N 5/232 Z

G 02 B 7/11 C

G 02 B 7/11 D

G 03 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月22日(2010.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体を視認するための光学ファインダーと、

被写体の光学画像を画像信号に変換して出力する撮像手段と、

前記画像信号に基づく画像を表示する表示手段と、

前記光学ファインダーによって被写体を視認可能な第1の動作モードと、前記画像信号に基づく画像を前記表示手段に表示する第2の動作モードとを切り換えるモード選択手段と、

複数の撮影シーンを選択可能なシーン選択手段と、

前記画像信号に基づいて前記光学画像の前記撮像手段への合焦を制御するフォーカス制御手段と、

前記第2の動作モードが選択されている場合に、前記シーン選択手段によって全自动モード又は人物を含む撮影モードが選択されているときは、前記画像信号に含まれる人物の顔に合焦させるよう前記フォーカス制御手段を制御する制御手段とを備える、撮像装置。

【請求項2】

前記制御手段は、

前記第2の動作モードが選択されている場合に、前記画像信号に基づいて前記撮像手段におけるISO感度の値を変更する、請求項1記載の撮像装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の撮像装置は、被写体を視認するための光学ファインダーと、被写体の光学画像を画像信号に変換して出力する撮像手段と、前記画像信号に基づく画像を表示する表示手段と、前記光学ファインダーによって被写体を視認可能な第1の動作モードと、前記画像信号に基づく画像を前記表示手段に表示する第2の動作モードとを切り替え可能なモード選択手段と、複数の撮影シーンを選択可能なシーン選択手段と、前記画像信号に基づいて前記光学画像の前記撮像手段への合焦を制御するフォーカス制御手段と、前記第2の動作モードが選択されている場合に、前記シーン選択手段によって全自動モード又は人物を含む撮影モードが選択されているときは、前記画像信号に含まれる人物の顔に合焦させるよう前記フォーカス制御手段を制御する制御手段とを備えるものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の撮像装置において、前記制御手段は、前記第2の動作モードが選択されている場合に、前記画像信号に基づいて前記撮像手段におけるISO感度の値を変更する構成とすることができる。このような構成とすることにより、使用者においてISO感度の設定を行う必要がなくなるため、操作を簡素化することができるとともに、常に最適な撮影条件を設定することができる。